

大学生協の保障制度からみた

大学生の 病気・ケガ・事故

共済金・保険金支払状況
(2015年4月1日～2016年3月31日)

2015

学生総合共済〔生命共済〕
〔火災共済〕
学生賠償責任保険
扶養者死亡保障保険
学業継続費用保険

報告書について



全国大学生協共済生活協同組合連合会
会長理事 **濱田 康行**
(北海道大学名誉教授)

大学生協では学生の病気やケガの保障を中心に、1981年以来、「学生どうしがお互いにたすけあう」学生総合共済〈生命共済・火災共済〉の事業を行っており、全国68.3万人以上の学生が加入しています。また、多発する学生の賠償事故等、学生生活のリスクを総合的に保障するため学生専用の保険(学生賠償責任保険・扶養者死亡保障保険・学業継続費用保険)もおすすめております。

この報告書は、こうした「大学生協の保障制度」の共済金および保険金支払実績データを分析してまとめたものです。学生の安全管理の推進等にお役立ていただければ幸いです。

また、お気づきの点や大学生協の保障制度へのご要望がございましたら何なりとお寄せください。

分析対象

「大学生協の保障制度」における共済金および保険金の支払データ(2015年4月1日～2016年3月31日)

※事業報告書(年度集計)の数値とは異なります。

分析目的

学生の病気や事故(ケガ)の実態や傾向を明らかにし、学生生活に於けるそれらのリスクへの備えについて考察すること。

注意事項(分類等について)

- ・病気の分類については大学生協共済連が定めるものです。そのため医療機関等が定める分類とは一部異なります。
- ・学年ごとの分類について、病気の場合は給付申請時の学年、事故の場合は事故発生時の学年です。
- ・各ページにある加入者数は2015年9月30日現在のものです。
- ・各ページの割合は表記以下を四捨五入しており、合計が100%にならない場合があります。

目次

1	大学生協の保障制度 保障内容の概要	P. 3
2	学生の病気の傾向(生命共済)	P. 4
3	学生のケガの傾向(生命共済)	P. 5
4	学生の本人死亡の傾向(生命共済)	P. 6
5	借家人賠償・家財・盗難の損害の傾向(自宅外生・火災共済)	P. 7
6	学生の賠償事故の傾向(学生賠償責任保険)	P. 8
7	学生の自転車による賠償事故の傾向(学生賠償責任保険)	P. 9
8	扶養者・父母に関する保障(生命共済)	P.10
9	扶養者に関する保障(扶養者死亡保障保険・学業継続費用保険)	P.11
10	学生生活無料健康相談テレホンの利用状況・相談内容	P.12
11	大学生協の保障制度 支払一覧	P.14
12	加入者数と支払件数の推移	P.15
13	学生の声	P.16

1 大学生協の保障制度 保障内容の概要

学生生活を24時間バックアップします。

学生総合共済の保障内容

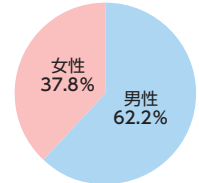
※保障内容は2016年3月時点のものです。
詳しい保障内容はパンフレットをご覧ください。

		保障種目	AF型
生命共済	入院 病気で	入院保障日額 1日目から200日 手術保障 後遺障害保障(1~3級)	10,000円 1回につき 50,000円 600万円~540万円
	入院・通院 事故やケガで	入院保障日額 1日目から200日 手術保障 通院保障日額 (入通院の合計が5日以上るとき1日目から90日) 固定具使用期間(入院日および通院日を除く) 後遺障害保障(1~14級)	10,000円 1回につき 50,000円 2,000円 2日で 2,000円 600万円~24万円
	死亡 本人の	病気・事故による死亡 その他の死亡	200万円 100万円
	父母・扶養者の死亡	扶養者事故死亡特約 扶養者の方が事故で亡くなられた場合 父母扶養者死亡特約 父母・扶養者の方が亡くなられた場合	一括または分割で 500万円 20万円

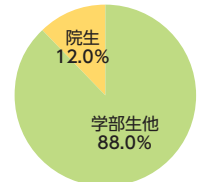
2015年度 生命共済

加入者数 624,685人
支払件数 41,626件

加入者割合(男女比)



加入者割合(学部生・院生)



2015年度 火災共済

加入者数 335,523人
支払件数 708件

		保障種目	KV型
火災共済	賠償保障	借家人賠償責任保障	1,200万円まで
	火災保障	家財の保障	300万円まで
		臨時費用 全焼・全壊のとき臨時費用としてお支払いします	20万円
	盗難保障	盗難家財保障	50万円まで
		盗難現金保障	10万円まで
		自転車盗難保障	再取得価額 3万円まで (自己負担5,000円)
	盗難借用户室修理費用保障	15万円まで	

下宿・アパート・寮から通学する人のために

(元受団体:全国大学生協共済生活協同組合連合会)

学生総合共済とあわせておすすめしている保険

※保障内容は2016年3月時点のものです。2016年4月から、新しい保障内容に変わっています。それぞれの保険の詳しい保障内容は、パンフレットをご覧ください。

学生賠償責任保険	他人に対する賠償責任…最高1事故1億円まで ○国内、海外での日常生活、正課の講義・行事・実習における賠償事故 示談交渉サービス付(国内のみ、名誉き損事故を除く) ※自動車・バイク(原付を含む)による賠償事故は対象外です。
扶養者死亡保障保険	扶養者が病気や事故で亡くなられた後に発生し、負担された学資費用を保障 1年間 最高年間38.7万円まで(1口加入の場合) ※事故で重度の後遺障害を被った時も対象です。
学業継続費用保険	扶養者が病気やケガにより入院・自宅療養されて仕事ができなくなったときの所得を保障 1カ月あたり10万円保障(最長12カ月)

2015年度 学生賠償責任保険

加入者数 698,634人
支払件数 2,051件

2015年度 扶養者死亡保障保険

加入者数 295,893人
支払件数 268件

2015年度 学業継続費用保険

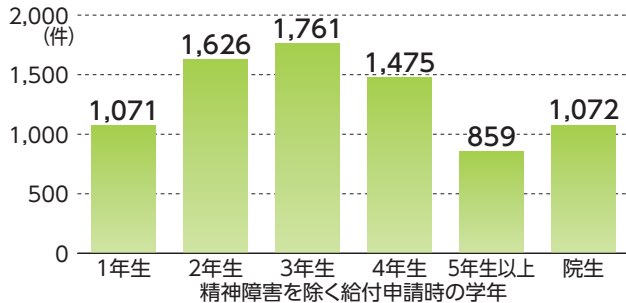
加入者数 3,412人
支払件数 60件

*学生賠償責任保険・扶養者死亡保障保険および学業継続費用保険は、全国大学生協共済生活協同組合連合会が保険契約者となり、共栄火災海上保険株式会社(幹事)と締結する団体契約です(2016年3月現在)。

2 学生の病気の傾向 (生命共済)

病気の傾向 (精神障害を除く)

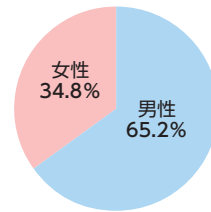
2015年度の支払件数は7,864件でした。



病気入院では消化器系疾患・呼吸器系疾患が多く、精神障害を除く病気入院の53.8%を占めています。消化器系疾患で多いのは歯の発育および萌出異常、急性虫垂炎、胃腸炎などですが、学生の支払事由で毎年最も多い病気

は自然気胸(呼吸器系疾患)です。学年別で比べると、2年生になると大幅に増加しています。また、男女別では加入者の男女比から見ると男性の発生が女性より若干高め傾向です。

男女比(支払件数)



男女比(加入者数)

性別	割合
女性	37.8%
男性	62.2%

入院病気分類

消化器系の疾患	2,523件
呼吸器系の疾患	1,711件
腫瘍(新生物)	612件
感染症	602件
神経・感覚器の障害	494件
泌尿器・生殖器系の疾患	447件
筋肉・骨格・関節の障害	369件
循環器系の障害	220件
皮膚・皮下組織の障害	184件
症状・徴候・診断名不明	182件
その他	520件

平均入院日数

9.5日

給付事例

【潰瘍性大腸炎】

大学4年生 男性
入院41日
支払共済金 410,000円

【マイコプラズマ肺炎】

大学3年生 女性
入院6日
支払共済金 60,000円

【自然気胸】

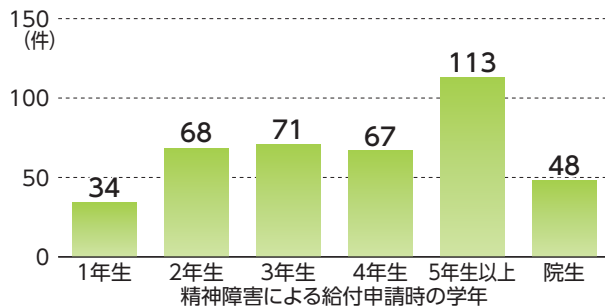
大学1年生 男性
入院8日・手術1回
支払共済金 130,000円

【卵巣嚢腫】

大学4年生 女性
入院10日・手術1回
支払共済金 150,000円

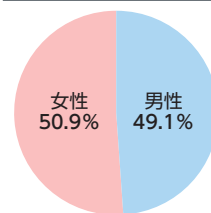
精神障害の傾向

2015年度の支払件数は401件でした。



精神障害による平均入院日数は53.4日で、精神障害を除く病気の平均入院日数9.5日に比べて非常に長くなっています。学年別では1年生の発生は他学年に比べて低く、2年生になると、増加しています。3年生以降は学年が上がるにつれて発生が多くなっています。本報告書の「こころの健康相談」(P.13)の利用状況同様、就職活動の解

男女比(支払件数)



男女比(加入者数)

性別	割合
女性	37.8%
男性	62.2%

入院病気分類

精神障害	401件
------	------

平均入院日数

53.4日

禁日の変更が、学年別の支払件数に影響しているように見受けられます。また、男女別では加入者の男女比から見ると女性の発生比率が高くなっています。本報告書にデータは掲載していませんが、精神障害では双極性障害、統合失調症が上位を占めています。

給付事例

【うつ病】

大学3年生 女性
入院127日
支払共済金 1,270,000円

【過換気症候群】

大学1年生 女性
入院1日
支払共済金 10,000円

【適応障害・抑うつ状態】

大学2年生 女性
入院39日
支払共済金 390,000円

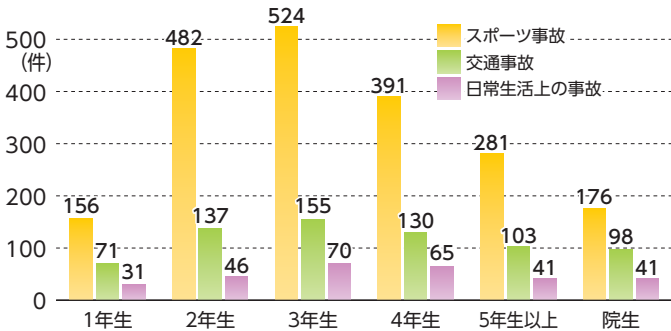
【統合失調症】

大学6年生 男性
入院37日
支払共済金 370,000円

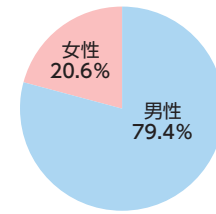
3 学生のケガの傾向 (生命共済)

事故種別によるケガ入院の傾向

2015年度の支払件数は2,998件でした。



男女比(支払件数)



男女比(加入者数)

女性	37.8%
男性	62.2%

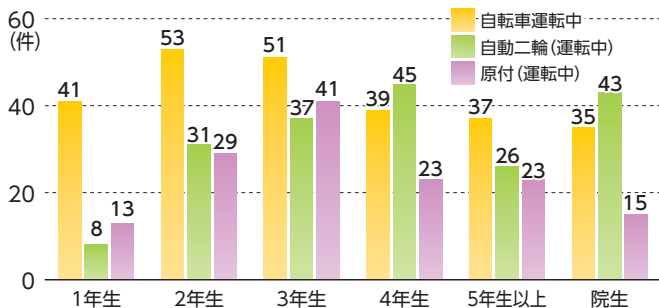
スポーツ事故(支払件数、平均入院日数)

競技名	支払件数	平均入院日数
サッカー・フットサル	346件	12.0日
ラグビー	263件	10.5日
アメリカンフットボール	244件	12.7日
バスケットボール	156件	12.6日
スノーボード	133件	8.7日
野球	89件	7.6日
ラクロス	84件	9.2日
スキー	77件	16.4日
バレーボール	77件	11.7日
ハンドボール	74件	12.9日
バドミントン	59件	14.4日
その他の競技	408件	—

支払事由で最も多いのはスポーツ事故、次いで交通事故です。学年別では3年生が最も多く、次いで2年生・4年生となっています。男女別では加入者の男女比から見ると、男性の発生比率が高くなっています。

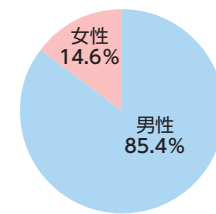
交通事故によるケガ入院の傾向

2015年度の支払件数は694件でした。



※学年等の属性が不明な給付申請の件数を除く

男女比(支払件数)



男女比(加入者数)

女性	37.8%
男性	62.2%

交通事故(支払件数、平均入院日数)

乗用具名	支払件数	平均入院日数
自転車運転中	256件	11.3日
自動二輪(運転中)	190件	18.1日
原付(運転中)	144件	17.0日
自動車(同乗中)	43件	26.2日
自動車(運転中)	33件	22.3日
その他	28件	—

交通事故は2年生になると増加しています。自転車事故の交通事故に占める割合は全体の36.8%となっており、4年生および大学院生以外の学年で最も多い事由となっています。

男女別では男性の発生比率が多数を占めています。自動車での事故は発生は低くなっていますが、平均入院日数は他の乗用具よりも長くなり、事故入院の重篤さを示す数字となっています。

給付事例

【スポーツ事故】

大学2年生 女性 合気道
 通院20日・固定算定日数17日
 支払共済金 74,000円
 練習中、相手に投げられた時の受身に失敗して、肩から落下。(左鎖骨骨折)

【日常生活上の事故】

大学4年生 男性 大学研究室
 入院10日・手術1回・通院13日
 支払共済金 176,000円
 ハンドプレス機を使用して金属片に圧力をかける実験をしていた時、金型が外れ飛んできて、顔面に直撃した。(上顎骨および鼻骨骨折)

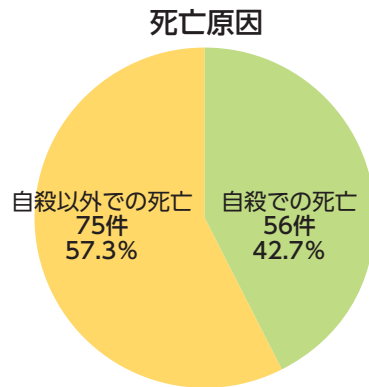
【交通事故】

大学4年生 女性 歩行中
 手術1回・通院31日・後遺障害
 支払共済金 352,000円
 横断歩道を渡っている時に右折車に衝突され、転倒した。(打撲、擦過傷、顔面の挫傷)

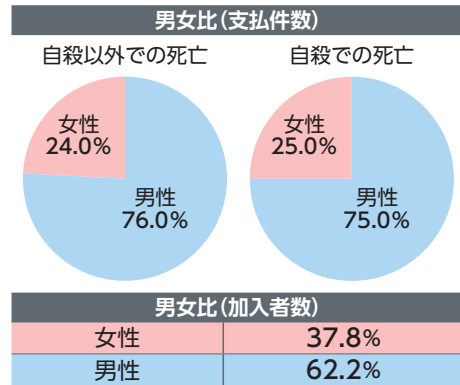
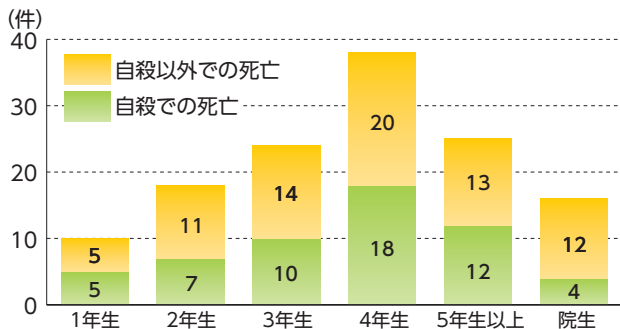
4 学生の本人死亡の傾向(生命共済)

学生本人死亡の傾向(自殺と自殺以外での死亡など)

死亡原因(支払件数、割合)		
死亡原因	支払件数	割合
自殺	56件	42.7%
精神障害	20件	15.3%
交通事故	14件	10.7%
循環器系の障害	11件	8.4%
腫瘍(新生物)	10件	7.6%
日常生活上の事故	9件	6.9%
急性アルコール中毒	1件	0.8%
その他の病気・事故	10件	7.6%
合計	131件	100.0%



死亡(原因内訳) 学年別



女性	37.8%
男性	62.2%

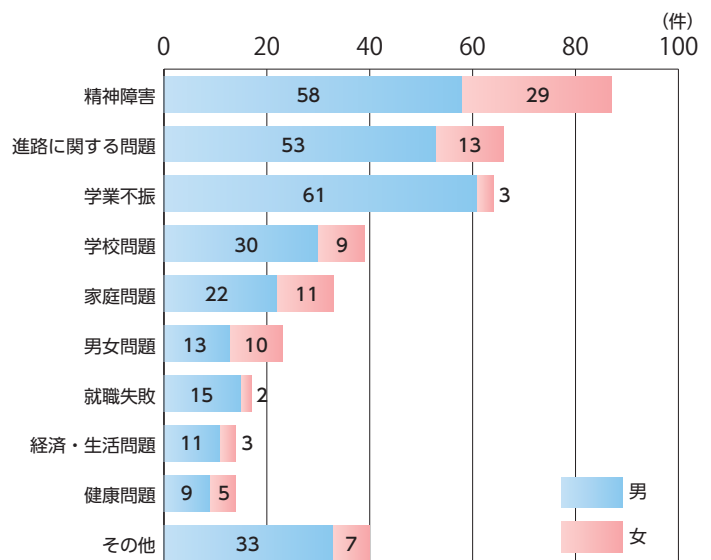
本人死亡の原因の4割以上が自殺によるもので、病気や交通事故での死亡よりはるかに多く、学生の深刻なメンタル問題が浮き彫りになっています。死亡件数全体では4年生での発生が最も多くなっています。また、男女別では加入者の比率から見ると男性の発生が非常に高くなっています。

ます。学生総合共済では加入者へのサービスとして、学生生活無料健康相談テレホン「こころの健康相談ダイヤル」を設置し、多くの学生と家族にご利用いただいています。(P.13参照)

◆警察庁まとめによる大学生の自殺の傾向(件)

大学生の自殺原因・動機				
	男	女	計	割合
精神障害	58	29	87	21.9%
進路に関する問題	53	13	66	16.7%
学業不振	61	3	64	16.1%
学校問題	30	9	39	9.8%
家庭問題	22	11	33	8.3%
男女問題	13	10	23	5.8%
就職失敗	15	2	17	4.3%
経済・生活問題	11	3	14	3.5%
健康問題	9	5	14	3.5%
その他	33	7	40	10.1%
計	305	92	397	100.0%

出典:警察庁「平成27年中における自殺の状況」
<http://www.npa.go.jp/toukei/index.htm>



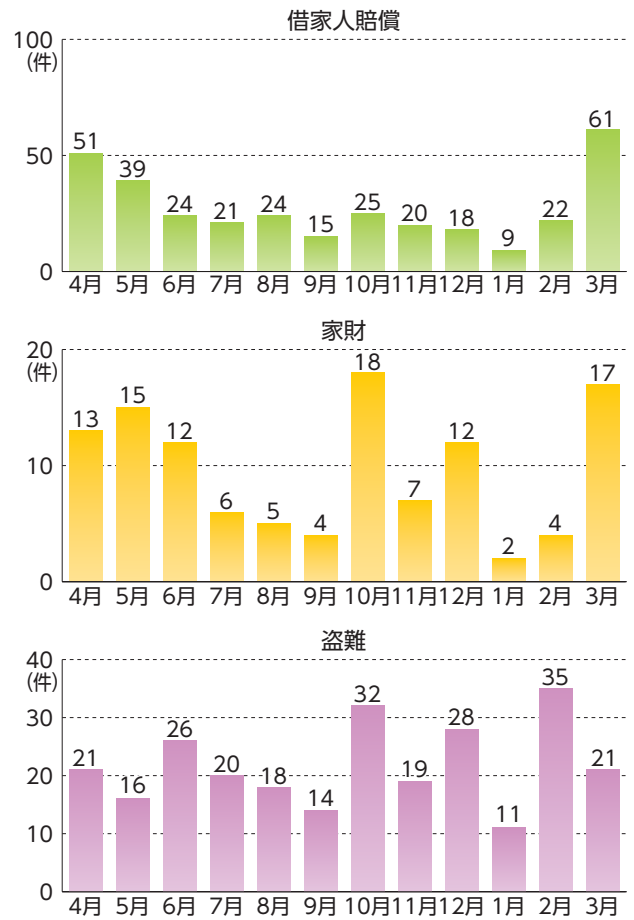
5 借家人賠償・家財・盗難の損害の傾向 (借家人賠償・家財・盗難)

主な事故発生原因

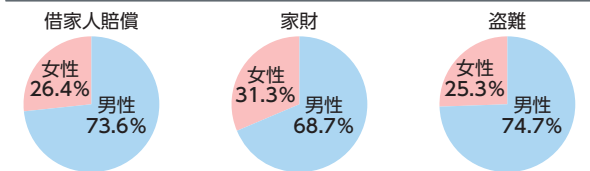
事故種別	発生原因	支払件数	平均支払金額	割合
借家人賠償	給排水器具からの水もれ	202件	190千円	28.7%
	凍結による破裂	90件	167千円	12.8%
	失火	31件	726千円	4.4%
家財	台風・風水害	27件	97千円	3.8%
	給排水器具からの水もれ	20件	117千円	2.8%
	類焼	19件	657千円	2.7%
	失火	19件	77千円	2.7%
	水ぬれ	17件	106千円	2.4%
盗難	窓壊し	54件	42千円	7.7%
	未施錠	52件	41千円	7.4%
	駐輪自転車	116件	21千円	16.5%

※上記表の支払件数は主な事故発生原因による件数をあわしたもので、月別支払件数の合計とは合致しません。

月別支払件数



男女比(支払件数)



男女比(加入者数)

女性	37.8%
男性	62.2%

借家人賠償については、寒冷地の急激な気温低下による被害も少なく、また予防活動が奏効し、冬場の水道管凍結・破裂による水もれ事故は昨年より大幅に減少しました。

近年、多くなっている洗濯機等、給排水器具からの水もれ事故では、自分の部屋だけではなく階下の部屋の家財や家主への高額賠償となる事例が発生しています。

盗難事故では、窓を壊され侵入されるケースやドア・窓の鍵の未施錠により侵入されるケースが多くなっています。長時間不在になることが多い学生の生活パターンも、事故発生の要因と考えられます。

2015年4月1日より保障開始となった自転車盗難保障での支払が盗難保障で最も多くなりました。自転車は通学以外にも使用するため、盗難事故にあうと学生の日常生活にも大きな支障があります。

給付事例

【火災】

大学1年生 男性
家財保障 142,260円
借家人賠償 855,738円
火の消し忘れにより、油が発火。シンク・壁が黒ずみ、消火器により周辺機器が故障した。

【凍結による破裂】

大学4年生 男性
借家人賠償 127,840円
水抜きが不十分で約1か月不在にしていたところ、浴室の温水の配管が凍結し、破裂した。

【盗難】

大学4年生 女性
盗難家財保障 12,938円
盗難借戸室修理費用保障 22,788円
窓ガラスが割られていて、衣類や写真が盗まれた。

【給排水器具からの水もれ】

大学3年生 男性
借家人賠償 1,080,000円
洗濯機と蛇口の接続部分からの水もれにより、自室の床・クロスと階下の天井の張り替えとなった。

【風水害】

大学3年生 男性
家財保障 255,426円
台風により窓ガラスが割れ、室内が水浸しになった。電子機器が動かなくなり、家具が水浸し・ガラスまみれになった。

【自転車盗難】

大学4年生 男性
自転車盗難保障 23,974円
マンション併設の自転車置場から自転車を盗まれた。

6

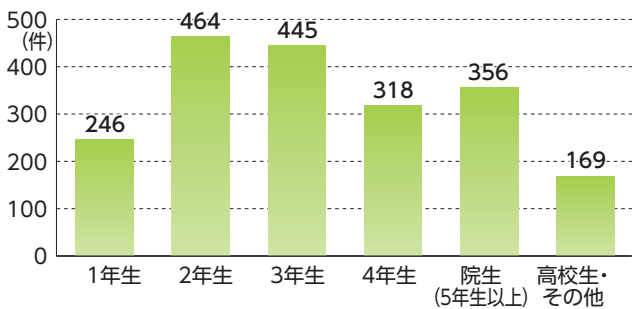
学生の賠償事故の傾向 (学生賠償責任保険)

事故分類による賠償事故の傾向

事故分類	支払件数(割合)		支払保険金(割合)		平均支払保険金
自転車事故	1,143件	57.2%	414,149千円	74.3%	362千円
水もれ事故	199件	10.0%	60,119千円	10.8%	302千円
スポーツ・運動中の事故	77件	3.9%	8,460千円	1.5%	110千円
授業・研修・実習中の事故	58件	2.9%	8,446千円	1.5%	146千円
スキー・スノーボード中の事故	26件	1.3%	5,647千円	1.0%	217千円
その他の事故	495件	24.7%	60,303千円	10.8%	122千円
合計	1,998件	100.0%	557,124千円	100.0%	279千円

※学生本人の死亡、針刺し・ウイルス感染の支払件数、支払保険金は除いています。
 ※支払件数は年度内に支払が行われた事故の件数、支払金額は年度内に支払われた保険金額の合計です。

事故発生学年



支払保険金	支払発生件数	割合
1,000万円以上	8件	0.4%
500万円以上	5件	0.3%
100万円以上	82件	4.1%
50万円以上	88件	4.4%
25万円以上	164件	8.2%
10万円以上	411件	20.6%
10万円未満	1,240件	62.1%
合計	1,998件	100.0%

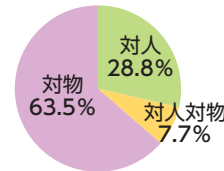
※複数支払先を含む延べ件数

対象別支払割合

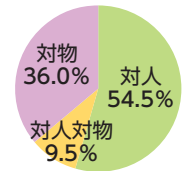
対人対物区分	平均支払保険金	支払件数割合	支払保険金割合
対人	528千円	28.8%	54.5%
対人対物	344千円	7.7%	9.5%
対物	158千円	63.5%	36.0%

※学生本人の死亡の支払件数、支払保険金は除いています。

支払件数割合



支払保険金割合



学生賠償責任保険全体の支払件数は昨年度に比べて62件減少しました。
 賠償事故で最も件数の多い事例が自転車事故で、支払件数においては全体の5割を超えています。また高額の支払も多く、1,000万円を

超えたものは全て自転車事故が原因でした。
 昨年に比べて、対人、対人対物、対物の平均支払保険金はいずれも減少しました。

給付事例

【自転車事故】

大学1年生 男性
 支払保険金 1,307,894円
 自転車走行中、信号無の交差点を右折しようとした際、右方から来た自転車と接触してケガをさせた。

【自転車事故】

大学院2年生 女性
 支払保険金 203,580円
 自転車走行中、歩行者が多数横断歩道を渡っていて、歩行者を避けた際に、他の歩行者に衝突しケガをさせた。

【スノーボード中の事故】

大学3年生 男性
 支払保険金 118,644円
 スノーボード中に転倒した時に、相手の足にぶつかり、相手がケガをした。

【水もれ事故】

大学2年生 男性
 支払保険金 2,392,675円
 浴槽の水を溜めていながら、そのまま就寝してしまい、階下に漏水した。

【正課中事故】

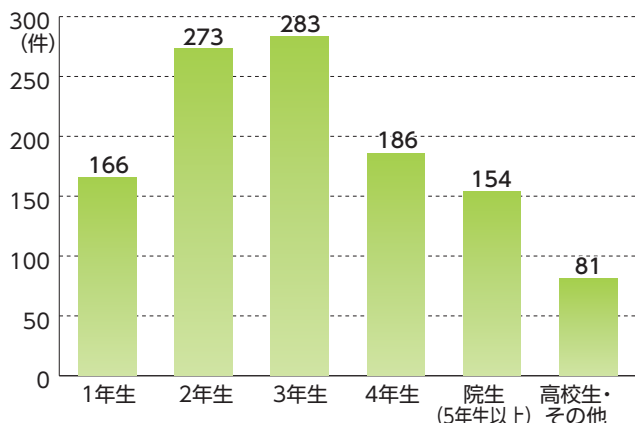
大学4年生 女性
 支払保険金 170,640円
 大学の実験中、実験機器のプラスチック部分を破損させてしまった。

【感染事故】

大学6年生 男性
 支払保険金 24,480円
 C型肝炎の患者さんの血液が飛散し、目に入ったかもしれないため、感染の検査を行った。

7 学生の自転車による賠償事故の傾向 (学生賠償責任保険)

事故発生学年(件)

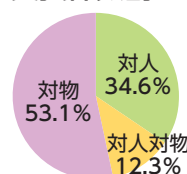


支払保険金	支払発生件数	割合
1,000万円以上	8件	0.7%
500万円以上	5件	0.4%
100万円以上	53件	4.6%
50万円以上	55件	4.8%
25万円以上	114件	10.0%
10万円以上	286件	25.0%
10万円未満	622件	54.4%
合計	1,143件	100.0%

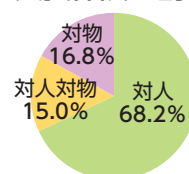
※複数支払先を含む延べ件数です。

対象別支払割合			
対人対物区分	平均支払保険金	支払件数割合	支払保険金割合
対人	715千円	34.6%	68.2%
対人対物	440千円	12.3%	15.0%
対物	115千円	53.1%	16.8%

支払件数割合



支払保険金割合



自転車運転中の賠償事故は、昨年度から67件減少しました。対して支払金額は昨年度より2,700万円を超える増加となり、平均支払額も4万円増となっています。500万円を超える高額事例が、すべて自転

車事故となっています。対象別支払いでは、対人事務での支払が増加しています。

示談交渉サービスの利用状況について

示談交渉サービスとは、学生賠償責任保険の被保険者(加入学生)が加害者になってしまったとき、被害者の同意を得て保険会社が被害者と折衝し解決するサービスです。保険金支払を受けた方の約60%が利用していますが、特に自転車事故では、その9割に近い方が利用しています。

示談交渉サービスは、交渉をスムーズに行うことで、被害者救済が遅延することがないように、また、学生の負担を軽減し、事故を起こしてしまっても勉強研究への影響を極力少なくしたいという思いから、付帯しているサービスです。

示談交渉サービス利用状況				
事故分類	利用あり	利用なし	合計	利用率
自転車事故	995件	148件	1,143件	87.1%
スキー・スノーボード	24件	2件	26件	92.3%
歩行中の事故	12件	10件	22件	54.5%
水もれ事故	73件	126件	199件	36.7%
その他の事故	26件	51件	77件	33.8%

示談交渉サービスを利用した学生の声

ひとり暮らしの為、誰を頼っていかかわからず不安だった。どうしたらよいか困っていたところに頼れる存在があり助かった。電話での対応もわかりやすく、短期間で対応してくださった。

相手の保険会社が事故の対応に非常に慣れていたので、示談交渉サービスをお願いできて助かりました。賠償事故の交渉だけでなく、保険処理から警察への対応についてまでアドバイスをいただき本当に助かりました。

当初はパニックをおこしましたが翌日よりすぐに対応にあたってくださり、不安が少しおさまり、安心してお任せできました。

もし保険に入っておらず、自分で相手方と交渉しなければならない状況を考えるとぞっとした。間に入って頂き、諸々の交渉、手続きをしてもらえてとてもよかったと感じた。

8 扶養者・父母に関する保障(生命共済)

扶養者事故死亡特約による共済金の支払い

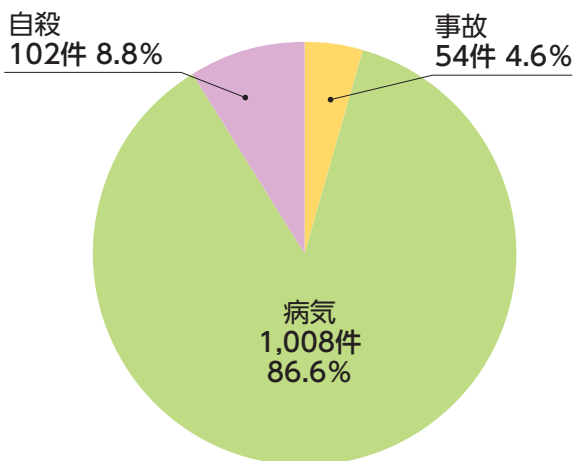
「扶養者事故死亡特約」は、学生の扶養者が不慮の事故によって亡くなられた時、一括または分割で500万円の共済金をお支払いする保障です。

(2014年度までは卒業予定年の満期月まで毎月10万円)

年間共済金支払状況	
扶養者事故死亡	
2015年度初回支払	49件
支払対象者合計	123人
支払共済金	265,996千円

父母扶養者死亡特約による共済金の支払い

共済金の支払件数構成比(事由別)



「父母扶養者死亡特約」は、学生の父母や扶養者(父母以外の方の場合も)が亡くなられた時(原因は問いません)、20万円の共済金をお支払いする保障です。

(2014年度までは10万円)

死亡原因	死亡者	支払件数	支払共済金	割合
事故	父	3件	60万円	0.3%
	母	2件	30万円	0.2%
	扶養者	49件	850万円	4.2%
	小計	54件	940万円	4.6%
病気	父	814件	14,300万円	69.9%
	母	180件	2,900万円	15.5%
	扶養者	14件	230万円	1.2%
	小計	1,008件	17,430万円	86.6%
自殺	父	81件	1,460万円	7.0%
	母	21件	360万円	1.8%
	小計	102件	1,820万円	8.8%
	合計	1,164件	20,190万円	100.0%

9 扶養者に関する保障 (扶養者死亡保障保険 学業継続費用保険)

扶養者死亡保障保険の保険金支払状況

「扶養者死亡保障保険」は扶養者が病気や事故で亡くなられた時(ケガによる重度後遺障害を含む)、その後に実際に負担した学資費用を限度額まで保障する保険です。

扶養者の死亡原因では、事故による支払件数は約1割、病気による支

払件数は約9割となっています。

また、死因は腫瘍・循環器系疾患が群を抜いており、日本における中高年の疾病傾向と一致します。

	支払件数	構成比	支払保険金	構成比	平均年齢
事故	27件	10.6%	18,007千円	10.0%	54.1歳
病気	228件	89.4%	161,567千円	90.0%	57.0歳
合計	255件	100.0%	179,574千円	100.0%	56.7歳

加入者数	295,893人
------	----------

※学生本人死亡による支払件数、支払保険金は除いています。

学業継続費用保険の保険金支払状況

「学業継続費用保険」は扶養者が病気やケガで入院・自宅療養し、就業できなくなったときの所得を保障する保険です。

一般の生命保険では保障対象外である「自宅療養」も保障されることが最大の特長です。

「入院および自宅療養」「自宅療養のみ」での支払が約9割を超えており、「自宅療養」への保障の必要性が確認できます。また、事故による支払件数は約4分の1、病気による支払件数は約4分の3となっています。

事由別	支払件数	構成比	支払保険金合計	構成比	支払保険金平均	平均年齢
事故	20件	33.3%	3,357千円	31.1%	168千円	53.2歳
病気	40件	66.7%	7,425千円	68.9%	186千円	53.0歳
合計	60件	100.0%	10,782千円	100.0%	180千円	53.0歳

入院・自宅療養別	件数	構成比
入院のみ	6件	10%
入院および自宅療養	30件	50%
自宅療養のみ	24件	40%
合計	60件	100%

平均支払認定日数	47.9日
最長支払認定日数	360日
平均支払金額	180千円
今年度支払金額	10,782千円

※年度をまたいだ支払認定日数も含まれます。

※支払件数、支払保険金とも年度内にお支払いした全ての件数、金額です。

加入者数	3,412人
------	--------

保険金の支払を受けられた方の声

A大学 2年生の保護者

建設業者のケガによる休業は収入と直結するため、支払いを受けることで、生活費の補てんができました。

わずかな保険料で他の保険と変わらぬ保障が受けられることがおすすめです。

B大学 2年生の保護者

病気で働く事ができない期間でも、収入を得ることができましたので、なんとか生活ができ、子供も今まで通り学校へ通っております。

自分がいつ病気やけが等をするかもしれないので、その時のために保険に加入しておくが大変助かるのでおすすめです。

C大学 1年生の保護者

勤務先の有給休暇がわずかしかなかったため、保険金のおかげで高額の医療費と仕送りに利用することができて、本当にありがたかったです。

この保険は入院の必要がなく、自宅で安静にすることが治療になるような病気でも適用となるのでおすすめです。

10 学生生活無料健康相談テレホンの利用状況・相談内容

学生総合共済に加入する学生やご家族が利用できる、「学生生活無料健康相談テレホン」があります。この電話相談は、健康づくりや健康管理に関する「からだの健康相談」と、こころの悩みにこたえる「こころの健康相談（メンタルヘルス相談）」があり、24時間365日、学生やその

ご家族からの相談に応じています。2015年4月1日より扶養者事故死亡特約の支払が毎月10万円から（一括または分割で）500万円になりました。その共済金支払いに関わる専用相談にも2015年4月より対応しています。

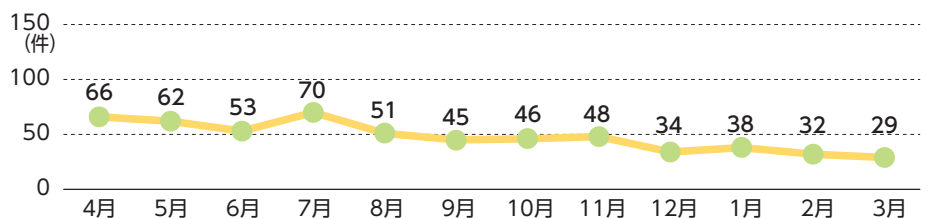
「からだの健康相談」の傾向

相談内容	件数	割合		学年別件数					
		今年度	前年度	1年	2年	3年	4年	大学院	その他
病気、ケガ等の疑問や不安（日常的な範囲）	257件	44.8%	41.3%	49件	47件	52件	68件	25件	16件
病気、ケガ等の疑問や不安（受診中・受診後）	155件	27.0%	28.4%	19件	28件	24件	50件	23件	11件
食生活および健康づくり	4件	0.7%	0.7%	0件	0件	2件	2件	0件	0件
性に関すること	4件	0.7%	1.9%	1件	0件	0件	1件	2件	0件
心の悩み	24件	4.2%	2.1%	2件	1件	3件	5件	5件	8件
医療機関、施設等の案内	50件	8.7%	7.1%	15件	9件	13件	5件	7件	1件
共済に関する問い合わせ	43件	7.5%	11.5%	5件	4件	9件	7件	2件	16件
その他	37件	6.4%	7.0%	2件	3件	2件	2件	0件	28件
合計	574件	100.0%	100.0%	93件	92件	105件	140件	64件	80件

続柄別	男性	女性
本人	146件	181件
親	18件	202件
その他	18件	9件
合計	182件	392件

住居状況	件数	割合
一人暮らし	352件	61.3%
家族と同居	162件	28.2%
その他	60件	10.5%
合計	574件	100.0%

月別相談件数



相談件数は合計で574件でした。今年度の件数を平均すると、月あたり47.8件、男女別の利用比率では男性31.7%：女性68.3%、続柄別では、学生本人からの相談が57.0%（内、男性44.6%、女性55.4%）、ご家族からの相談は38.3%でした。相談内容別では「病気・ケガ等の疑問や不安（日常的な範囲）」が最も多く、全体のおよそ4割を占めています。相談内容は急なケガや病気になった時の受診の目安や応急処置、医

療機関へのかかり方など、電話による専門的かつ個別の具体的なアドバイスを求めていることがわかります。また『心の悩み』については、全体で占める割合も大きくはありませんが、身体症状の表出は精神症状が起因するものもあることが推察され、その意味で「からだの相談」と「こころの相談」をセットにしていることで、学生生活サポートの一助になっていることが考えられます。

相談事例

深夜、目が乾燥したままコンタクトレンズを外した。2時間後から目の痛みが強くなり開けられなくなった。それから3時間くらい経ち、今は痛みも少し落ち着き、少しなら目を開けることもできるようになった。このまま様子を見ていて問題ないか。受診か。
(4年 21歳 男性)

2年くらい前から、月経周期が安定していない。短い時は22日だったが、長い時は44日くらい空いたこともあった。月経痛が重く、吐き気や胃痛、腰痛などで寝込むこともある。月経期間は7～9日と長めである。まだ婦人科は受診したことがないが一度受診した方がよいか。
(4年 22歳 女性)

一人暮らしの息子から、日中ムカデに刺されて腫れていると連絡が来た。どのように対応すればよいか。
(3年 21歳 男性の父)

昨日、インフルエンザB型と診断された。イナビルを吸入し昨日のうちに解熱したが、今日になり再度38℃の発熱がある。インフルエンザでは、解熱してもまた熱が上がることもあるのか。または、風邪を併発しているのか。喉の痛みもあるので、解熱剤を内服したいが問題ないか。
(2年 21歳 男性)

一人暮らしをしている息子から、3日間熱を出しているという電話があった。しばらく熱が下がらないので受診を考えているが、本人の手に保険証がない。とりあえず自費で払うことを考えているが、後日保険証を提示すれば返金されるか。
(1年 19歳 男性の母親)

1カ月後、パキスタンに農業研修のため渡航予定。学校から狂犬病、肝炎の予防接種をするように指示があるが、本当に必要な接種なのか。他に接種すべき予防注射はあるか。過去に一度ハチに刺されたことがあるが、海外で2回目にハチに刺された際の対処法も教えてほしい。
(4年 23歳 男性の母親)

留学生の友人が、夜行バスに乗って車酔いを起こし、今、近くの喫茶店のソファに座り休んでいる。首を冷やしているが、なかなか改善せず気分が悪いためベッドに横になりたいと言っている。ベッドはないが、他にできることはないか。
(4年 22歳 女性)

「こころの健康相談(メンタルヘルス相談)」の傾向

こころの相談主訴分類	件数	割合		学年別件数					
		今年度	前年度	1年	2年	3年	4年	大学院	その他
身体症状	33件	3.4%	4.1%	4件	3件	9件	8件	5件	4件
精神症状	382件	39.5%	56.5%	60件	18件	38件	140件	72件	54件
人間関係	292件	30.2%	22.3%	81件	15件	51件	47件	37件	61件
学業の問題(進路等含む)	157件	16.2%	9.1%	17件	5件	15件	76件	28件	16件
その他	103件	10.7%	8.0%	31件	6件	6件	19件	22件	19件
合計	967件	100.0%	100.0%	193件	47件	119件	290件	164件	154件

相談件数は合計で967件と、前年から130件増加しています。学生本人からの相談が147件増加し、学年別に見ると1年生・4年生・大学院生の利用は増加しましたが、2年生・3年生の利用は減少しています。また月別の利用件数では7月から11月にかけては昨年以上の利用となり、特に11月は昨年の倍以上の利用がありました。2015年度は就職活動の解禁日

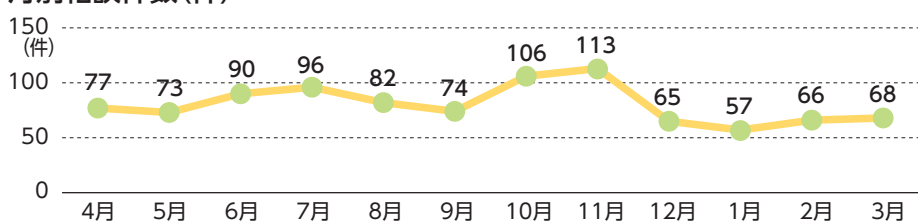
が変更になったことも、利用に影響があったのではないかと考えられます。相談内容は、ご本人が抱えている精神障害(発達障害、統合失調症、適応障害など)により日常生活や学業に影響を与えているケースが多く見られました。

SNSやLINEが隆盛している昨今ですが、一人ひとりに肉声で応えることで、人の温かさを感じていただけているのではないかと考えています。それは、複数回の相談者が多いことからうかがえます。

続柄別	男性	女性
本人	316件	522件
親	7件	118件
その他	1件	3件
合計	324件	643件

住居状況	件数	割合
一人暮らし	740件	76.5%
家族と同居	205件	21.2%
その他	22件	2.3%
合計	967件	100.0%

月別相談件数(件)



相談事例

今週から一人暮らしを始めた。一人暮らしは思ったより大変だ。家具が組み立てられないし、履修登録も複雑で分からない。大学で友人と会っている時は大丈夫だが、帰り道から辛い。このままではうつになるのではないかと不安だ。唯一同じ状況にいるのは、中学高校と一緒にだった友人で、友人には「辛い」と言える。(1年 19歳 男性)

2年生になる息子が大学に通えていない。1年生の時は通えていたが、2年生になってからはほぼ通えておらず、試験も受けていない。入学時に気胸が見つかり1カ月ほど入院した。そのことがきっかけで、周囲に出遅れた感があり馴染めなかった。1年生の年末に再発し、その頃から登校できなくなっている。留年してもよいのでしっかり病気を治してやり直して欲しい。(2年 20歳 男性の母親)

研究や課題に忙殺され、息子はほとんど学校を休めないようだ。最近、体重が7~10kgほど減ってしまったと聞き、心配している。頭痛薬を手放せず、下痢や高熱に苦しむこともあるという。息子の研究室は、以前にも体調を崩して倒れた学生がいたと聞いている。このまま見守っているだけで大丈夫なのかと不安を感じている。(院1年 22歳 男性の母親)

娘の就職活動について相談したい。娘は就職活動が上手くいかないことで「自分はダメな人間だ」、「何のために生きているのか」、「死んだ方がよいのではないか」というような言葉を口にするようになった。親として、どのようなサポートをしたらよいのだろうか。娘にとっては人生最大の壁にぶつかっているように感じていると思う。離れて暮らしているのでも心配だ。(4年 21歳 女性の母親)

これからの進路のことなどで、考えすぎてしまう。ここ1カ月くらいは、うつ症状もある。胸がつかえる感じがして、気持ちも落ち込む。食欲もあまりなく、食べる量もだいぶ減っている。学校やサークルには休まず参加しているが、良くなる方法はあるのだろうか。病院へ行くべきだろうか。(3年 21歳 女性)

眠れなくて辛い。生活のリズムが崩れているのを感じる。精神安定剤は飲んでいるが、睡眠導入剤は体に合わない。薬を変えたり食事を変えたりして、前よりは眠れることが増えたが、眠れなくて辛いことは変わらない。よい時と悪い時がある。(5年 24歳 女性)

小さい頃から発達障害で苦しんできた。子どもの頃は、それが「発達障害」と呼ばれていることも知らずに苦しんできたので、大学に入ってから病院で診断と治療を受けて、とても楽になった。病院で治療を受けることで、こんなに簡単に苦しみに解放されるのだなと思うと、それはそれで子どもの頃の苦しみが何だったのだろうと複雑な気持ちになる。今までの時間があったいなかった。(4年 22歳 男性)

息子が大量に出る汗を心配して精神科を受診した。社会不安障害と診断され、大量の薬が処方されている。社会不安障害でも抗うつ剤が処方されるものなのだろうか。また、大量の薬を飲んで本当に大丈夫なのだろうか。(1年 19歳 男性の母親)

「扶養者事故死亡特約共済金相談」の傾向

相談内容	件数	割合	相談者の内訳		続柄別	男性	女性	住居状況	件数	割合
			学生	親・その他						
税務相談	6件	10.9%	2件	4件	本人	3件	2件	一人暮らし	1件	1.8%
その他	49件	89.1%	3件	46件	親	6件	18件	家族と同居	2件	3.6%
					その他	1件	25件	その他	52件	94.5%
合計	55件	100.0%	5件	50件	合計	10件	45件	合計	55件	100.0%

扶養者事故死亡特約共済金に関する相談は1年間で55件ありました。そのほとんどが保障内容に関する問い合わせであり、実際の相談は4件のみでした。相談内容は「支払共済金は一時所得、または相続財産のどちらに該当するのか」「課税申告に該当するのか」といった税務相談でした。

11

大学生協の保障制度 支払一覧

全国の共済・保険加入者のおかげで、2015年度は44,710件、約42億9,000万円の共済金・保険金をおくることができました。

病気や事故、扶養者の死亡などで体や心が傷ついた全国の仲間へ、共済金とともに、「たすけあい」の気持ちがおくられました。

保障制度毎の加入者数	
学生総合共済(生命共済)	624,685人
学生総合共済(火災共済)	335,523人
学生賠償責任保険	698,634人
扶養者死亡保障保険	295,893人
学業継続費用保険	3,412人

共済金・保険金支払対象区分		件数	金額
学生本人	死亡(病気)	51件	102,000千円
	死亡(事故)	24件	48,000千円
	死亡(扶養者死亡保障保険)	13件	1,400千円
	死亡(学生賠償責任保険)	23件	2,300千円
	死亡(自死)	56件	56,000千円
	後遺障害(ケガ)	119件	124,660千円
	後遺障害(病気)	6件	34,800千円
	ケガ(入院)	3,012件	377,381千円
	ケガ(手術)	2,501件	134,600千円
	ケガ(通院)	16,441件	630,620千円
	ケガ(固定具使用)	5,709件	182,139千円
	病気(入院)	8,265件	955,184千円
	病気(手術)	4,155件	220,610千円
	針刺し・ウイルス感染(学生賠償責任保険)	30件	561千円
	計	40,405件	2,870,255千円
扶養者(父母)	扶養者事故死亡特約*	123件	265,996千円
	学資費用(扶養者死亡保障保険)事故	27件	18,007千円
	学資費用(扶養者死亡保障保険)病気	228件	161,567千円
	父母扶養者死亡特約	1,164件	201,900千円
	自宅療養・入院による所得減少(学業継続費用保険)	60件	10,782千円
計	1,602件	658,252千円	
自宅外生	家財	115件	21,574千円
	借家人賠償責任	329件	77,219千円
	盗難	145件	6,035千円
	(うち、現金盗難を含むもの)	(54件)	(2,638千円)
	自転車盗難	116件	2,431千円
計	705件	107,260千円	
他人に対して	賠償責任(学生賠償責任保険)	1,998件	557,124千円
	計	1,998件	557,124千円
総合計		44,710件	4,192,891千円

*生命共済の「扶養者事故死亡特約」の件数は、年度内に新しくお支払いした件数です。金額は2014年度以前にお支払いがはじまり、2015年度にお支払いが続いている額を含みます。

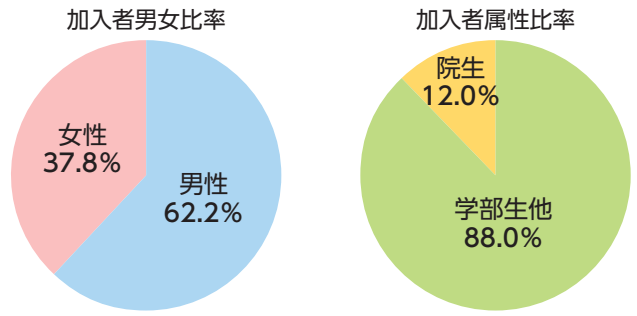
制度に付帯されるサービス		
学生生活無料健康相談テレホン(共済)	からだの健康相談利用件数	574件
	こころの健康相談(メンタルヘルス相談)利用件数	967件
	扶養者事故死亡特約共済金相談利用件数	55件
示談交渉サービス(学生賠償責任保険)		1,130件

12 加入者数と支払件数の推移

学生総合共済は1981年の発足以来、病気や事故で困っている学生にひとりでも多く共済金の支払いができるように組合員の声をもとに制度の改善を繰り返してきました。

同時に、共済に加入していなかったために病気や事故にあった時に共済金の支払いができない学生をなくしたい、との思いから全ての学生・院生に加入をすすめることを重視しています。

制度の開始時に3万人であった加入者は現在68.3万人以上へと、全国210会員の大学生協（2016年3月末時点）でたすけあいの大きな輪が広がっています。

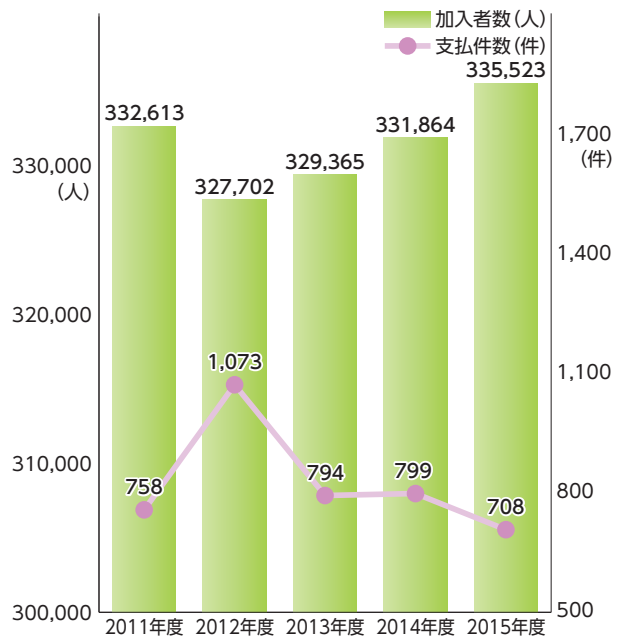


※円グラフは生命共済と火災共済の加入者を合計した比率です。

生命共済



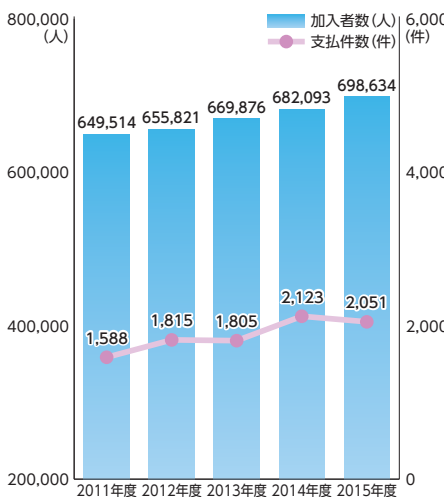
火災共済



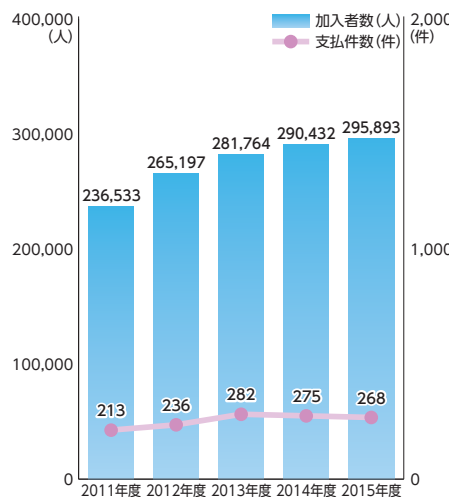
※加入者数は各年の当該年度の加入者数が確定する9月末の数字です。支払件数は各年4月～翌3月の数字です。

保険の加入者数と支払件数の推移

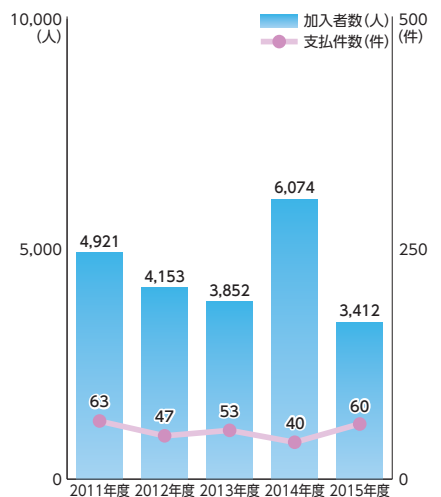
学生賠償責任保険



扶養者死亡保障保険



学業継続費用保険



※加入者数は各年の3月末の数字です。支払件数は各年4月～翌3月の数字です。

13 学生の声

2014年7月(大学院1年生 女性)

【消化器疾患】

入院5日
支払共済金 50,000円

卒業論文を書いているストレスと疲労がたまっていたところに生ものを食べたことが原因かと思いますが、病院ではストレスが原因と言われました。

入院費がどこまでかかるのかと心配でした。病気でもしっかり保障がいただけるので、とてもありがたかったです。皆様の支えのおかげで元気になりました。ありがとうございました。

2015年4月(大学1年生 男性)

【網膜はく離】

入院26日 手術2回
支払共済金 360,000円

急に視力が低下した。原因不明。

これまで元気に過ごしてきましたが、一人暮らしを始めることもあり、安心のために…と加入しました。病気は突然になるものです。加入直後にそのこと、共済加入の大切さを実感しました。ありがとうございました。

2015年4月(大学3年生 女性)

【ネフローゼ症候群】

入院45日
支払共済金 450,000円

春休みから前期授業の始まりまで忙しくしていたところ、足のむくみが急にひどくあらわれ、病院を受診した。尿蛋白が異常だということで、大学病院を紹介され入院することになりました。

長期入院ということで、入院費の心配をしていたのですが、共済加入のおかげで安心して入院することができました。

2015年4月(大学1年生 男性)

【双極性感情障害】

入院65日
支払共済金 650,000円

親元を離れ県外での寮生活。今までとは違った環境の中で頑張ろうとしすぎたことと、風邪で体調を崩してしまったことなどが重なっての発症だと思います。

精神障害でも保障してもらえるとは「共済・保険ハンドブック」を改めて見るまでは知りませんでした。思ったより入院費用がかかったので、共済に入っていて幸いでした。

2015年3月(大学3年生 男性)

【スポーツ事故 スキー 腰椎椎間板ヘルニア】

入院14日 手術1回 通院21日 固定算定日数36日
支払共済金 304,000円

スキージャンプ台でジャンプをし、着地の際にバランスを崩し、腰から雪上に落下。腰椎椎間板ヘルニアを発症。

自分はいらないだろうと思っていたのですが、親が「お守りのつもりで」と加入しました。本当に助かりました、ありがとうございました。

2015年7月(大学2年生 女性)

【自転車運転中の事故 骨盤骨折他】

入院65日 通院4日
支払共済金 658,000円

登校のため自宅を出て住宅内のクランク状の交差点を直進中、左側から来た自動車に衝突された。

自転車は気軽に乗れるものですが、法的に軽車両です。十分に気をつけて運転しないと、場合により重い罰則を受けるので注意が必要です。このたびの重傷事故で共済金を使わせていただく事、とても助かります。「まさか自分が…」と思ってもよらないための共済、幸いに使うことがなくても相互扶助として役立ちますので加入は必要だと強く思います。

2016年1月(大学2年生 男性)

【空き巣による現金盗難と戸室修理】

支払共済金 80,000円(火災共済 盗難現金保障)
30,000円(火災共済 借戸室修理費用保障)

ベランダの入り口のガラスが割られ、内鍵をあけられ、家の中にあった現金を盗まれました。

自分で生活費を管理していたため、お金に困った。またガラスが割られたところから、冷たい風が入ってきて寒かった。共済というものがあり、自己負担なく学校生活が続行できます。皆さん防犯意識を高めて、こういうことのないようにしていきましょう。

2014年12月(大学3年生 女性)

【住宅起因事故 水もれ事故】

支払共済金 476,647円(火災共済 借家人賠償)
支払保険金 200,846円(学生賠償責任保険)

シンクの排水口が詰まってしまって、水があふれてしまい、部屋が浸水した。自室床の貼り替えと、階下の天井や壁の改修工事費用がかかった。

窓口の人が親身になって聞いてくださり、不安だった気持ちが少し解消されました。また請求に必要な書類は大家さんが教えてくれたため、比較的簡単でした。水のトラブルは他の人にも迷惑をかけてしまうので、私のようにならないようにしてください。

2015年7月(大学2年生 女性)

【日常生活上の賠償事故】

支払保険金 130,060円(学生賠償責任保険)

ベランダに置いてあった洗濯スタンドが強風で吹き飛ばされ、アパートの下に駐車してあった車に当たり、相手の車にキズをつけてしまった。

風のせいとはいえ、自分が加害者になったことは間違いなく、当初は動揺を隠せず、また被害者側からのお金の請求書もらった時は涙さえ出ました。この保険に入っていたおかげでたくさん助けられました。入っていて良かったです。

お問い合わせ先

●学生総合共済について

全国大学生協共済生活協同組合連合会

TEL 03-5307-1173 FAX 03-3507-7408

<http://kyosai.univcoop.or.jp/>



●学生賠償責任保険・扶養者死亡保障保険・学業継続費用保険について

株式会社 大学生協保険サービス

TEL 03-5307-1159 FAX 03-5307-1191

<http://hoken.univcoop.or.jp/>

